

## 情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2025 年 1 月 18 日作成 第 1.1 版

研究課題名	画像誘導放射線治療におけるアプリケータの個体差が線量体積ヒストグラムへ与える影響
研究の対象	2022 年 9 月から 2025 年 12 月の間に、横浜市立大学附属病院で婦人科癌と診断を受けている患者さんのうち、画像誘導放射線治療による遠隔操作密封小線源治療装置（RALS）治療を行った方、あるいはこれから行う方を対象とします。
研究の目的	婦人科領域の癌（子宮頸癌、子宮体癌、膣癌）に対する RALS を用いた腔内照射において、CT 画像を用いて治療計画を立案する画像誘導放射線治療が普及しています。画像誘導放射線治療では CT を用いて治療計画を作成し、その計画を基に線源を移送させることで治療を実施します。しかし、アプリケータの個体差により、計画時の線源位置と実際の線源位置に差が生じる可能性があります。本研究では、アプリケータによる個体差が、リスク臓器（直腸、膀胱）及び腫瘍の線量への程度影響があるのか調べることを目的としています。
研究の方法	実際に RALS 治療で用いた CT 画像を使用し、アプリケータの個体差を再現させることで、リスク臓器と腫瘍の線量を算出します。 いずれも通常の診療で得られた情報を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	西暦 2023 年 8 月 28 日（研究機関の長の許可日）～西暦 2026 年 3 月 31 日 情報の利用を開始する予定日：西暦 2023 年 8 月 28 日（研究機関の長の許可日）
研究に用いる 試料・情報の項目	【試料】 該当しません。 【情報】診療録から以下の情報を収集します。 ・背景情報：年齢、病期、TNM 分類 ・画像検査：RALS 治療計画に使用した CT 検査データ
試料・情報の授受	本研究では、外部機関との情報の授受はありません。 本研究で収集された情報は、本研究の目的以外の学術研究に用いられる可能性があるため、保管期間終了後も期間を定めず保管します。廃棄する際は、情報は復元できない方法で廃棄します。
個人情報の管理	情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう管理する表（以下、対応表）を作成して、識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その対応表は当院外へ提供することはありません。

## 情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

<b>試料・情報の管理について責任を有する者</b>	<p>当院の個人情報の管理責任者は病院長であります。その責務を以下の者に委任され管理されます。</p> <p style="padding-left: 20px;">研究責任者：横浜市立大学附属病院 放射線部 伊澤光太郎</p>
<b>利益相反</b>	<p>利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の間接的な関係を含むものです。本研究は資金を要しない研究です。本研究の計画・実施・報告において、研究の結果及び結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益の衝突」は存在しません。</p>
<b>研究組織（利用する者の範囲）</b>	<p>【研究機関と研究責任者】</p> <p>横浜市立大学附属市立大学附属病院 放射線部 伊澤光太郎</p>
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。</p>	
<p><b>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</b></p> <p>〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9</p> <p>横浜市立大学附属病院 放射線部 （研究責任者・問い合わせ担当者）伊澤光太郎</p> <p>電話番号：045 - 787-2800（代表） FAX：045 - 787 - 2931</p>	